

令和6年度 第2回広島県教科用図書選定審議会 議事録

1 開催日時 令和6年6月10日（月）午後1時00分～午後4時30分

2 開催場所 広島県自治会館 1階101会議室

3 出席者 20名

4 欠席者 0名

5 内 容

事務局	（本選定審議会の進行及び資料について説明） この選定審議会の傍聴及び議事録の公開については、第1回選定審議会の際に確認したように、第2回は傍聴及び議事録を公開する。なお、第1回の議事録については、すでにホームページに公開している。 また、第3回については、傍聴はなく議事録のみ公開する。
会 長	本日は、令和7年度使用教科用図書選定資料について審議を行う。まず、資料1－①令和7年度使用中学校用教科用図書選定資料（案）について説明をお願いします。
事務局 （義務教育 指導課）	（資料1－①のうち8種目について説明） ※ 審議会での資料については、（案）段階のものを別途掲載。 ＜グループに分かれて教科書見本の閲覧後、意見交流＞
会 長	協議した内容について、各グループから発表をお願いします。
委 員	このたびの資料で新たに設定された思考力、判断力、表現力等の育成の観点等について、各発行者がどのように、資質・能力を育成するために工夫しているのか、分かりやすく示されている。書写の資料については、構成やねらいが明確に示してあるので、比較がしやすい資料となっている。国語の資料については、特色として「話し合い」を挙げられており、「話し合い」の手順を各発行者が工夫していることがわかる。各発行者が身近なものを話題に出しており、例えば、身近な話題を社会とつなげるなどして、自分で学ぶことができるような構成になっている。

委 員	それぞれの教科の視点・方法について、どのように調べているのか、教科書をめくりながら確認した。例えば、国語の資料においては、視点④の自分の考えを形成する活動の工夫のところで、「話し合うこと」における合意形成に関する単元について、どのような目標、学習過程なのかといったところを、教科書と見比べながら確認した。単元名一つをとっても、それぞれの発行者で特徴が表れている。
委 員	多くの教科で、問題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組むことができるように、日常生活と結び付けたり、必然性のある課題を設定したりできるように、各発行者で共通して創意工夫が見られる。また、各発行者は、振り返りを大切にしており、振り返ることで、主体的な学習につなげられるように工夫している。
委 員	国語の視点④の自分の考えを形成する活動の工夫について、各発行者の特徴が表れている。また、数学の視点⑦の問題解決的な学習に対する振り返りの工夫について、項目を四角で囲むことで分かりやすくなっており、かつ、教科書の記載のとおりに書かれているので、客観性も担保されている。他にも、具体的な子供の台詞が「」に示してあり、これから学習する内容についてイメージしやすくしたり、興味・関心を持たせやすくしたりしている。さらに、視点の中で、実生活との関わりに関するものが多くあり、子供の興味・関心や主体性を引き出すことにつながる。道徳では、全ての発行者で掲載されている教材「二通の手紙」を取り上げることで、各発行者の特徴が分かりやすい。
会 長	資料１－①の残りの８種目について説明をお願いします。
事務局 (義務教育 指導課、 豊かな心 と体育育 成課)	(資料１－①のうち８種目について説明) ※ 審議会での資料については、(案)段階のものを別途掲載。 <グループに分かれて教科書見本の閲覧後、意見交流>
会 長	協議した内容について、各グループから発表をお願いします。
委 員	美術の観点イの思考力、判断力、表現力等の育成において、言語活動を行うにあたって、思考ツールを活用して、整理する場面や話し合う場面を設定していることが示されていた。事例数、教材数、デジタルコンテンツの数等を示しており、客観的な資料であるといえる。どの発行者も、問題解決の過程が示されており、特に、課題提示が工夫されており、吹き出し等によって視覚的に捉えやすく、これから何を学んでいくのかを分かりやすく示している。
委 員	どの発行者も身近な生活とつなげて考える工夫が見られる。例えば、社会（公民的分野）では、選定資料の89ページに、現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例として、各発

	行者が合唱コンクールの練習や部活動などを例にしており、具体的な生活場面を挙げている点に特徴が見られる。また、視点⑤の学習のまとめの工夫について、多面的・多角的に考察させるための工夫として、思考ツールによる工夫などを示しており、他の教科でも活用できるような力を育成するための工夫が見られる。さらに、保健体育においても、具体的な生活場面とつながるような工夫が見られる。
委 員	保健体育では、見開きごとに課題が設定されており、特に制服といった性的マイノリティに関わるような、子供の身近な問題を考えさせるものがどの発行者においても見られる。また、多くの種目で、各発行者の教科書において、見方・考え方について示しているが、それぞれの発行者の示し方の違いについて分かるように選定資料に示している。社会（歴史的分野）の視点③では、コラム等として、コラム以外の様々な特設ページ等も含めて記載しており、客観的に比較できるように示している。
委 員	各発行者は、身近な生活の中から課題を見だし、具体的に改善を図っていくような構成になっている。そのことを踏まえて観点、視点、方法が設定されており、分かりやすい。また、社会（公民的分野）の視点⑤の学習のまとめの工夫について、多くの発行者で思考ツールを示しており、それを選定資料に示しているので、各発行者の特徴が分かりやすい。さらに、教科書のキャラクターの吹き出し等を効果的に抜き出して、吹き出しから学習のゴールに向かって、ファシリテートされていくようなつくりになっているのが、資料から読み取れる。
会 長	課題提示の際に身近な生活場面と結び付ける工夫、見方・考え方の提示の仕方、学習のまとめ等で、各発行者の特徴が分かる資料であるとの意見があった。
会 長	その他、質問及び意見はないか。
委 員	なし（全委員）
会 長	資料１－②について説明をお願いします。
事務局 (義務教育 指導課)	（資料１－②について説明） ※審議会での資料については、（案）段階のものを別途掲載。
会 長	続いて、資料１－③について説明をお願いします。
事務局 (特別支援 教育課)	（資料１－③について説明） ※審議会での資料については、（案）段階のものを別途掲載。

	<グループに分かれて教科書見本の閲覧後、意見交流>
会 長	協議した内容について、各グループから発表をお願いします。
委 員	児童生徒が自身の生活と結び付けて繰り返し考えると、知識が定着しやすいのだろうと考える。「おやくそくえほん」を見ると、「なんで怒られる人のことを見てはいけないのか」等について、理由が詳しく書かれており、かつ、イラストも描かれているので、周りの人の気持ちが分からない子供にとっても、分かりやすいであろう。
委 員	「おやくそくえほん」は、いろいろな場面で使えるのではないかと捉えている。子供の実態に応じて、配慮をする内容を基に表記されており、同じ教科書を調査しても、視点や方法が異なると、見え方も異なる。子供の障害種別に応じて調査して資料を作成している。
委 員	カラー刷りのものがよいのか、二色刷りのものがよいのかというところが、教科書を選ぶ基準になる視点であると感じた。障害の程度等で、配慮すべきところが異なる中で、障害の種別に応じて資料がつくられているので、資料を見ることで、担当している生徒はどのような配慮が必要なのか見えるようになっている。
委 員	障害の種別に応じて、詳しく調査している。選定資料を活用して、生徒の実態に合った教科書が採択されるとよい。二次元コードも調べており、時代に合ったものになっている。特に、興味・関心をもってもらうために、どの障害種別にも、情報機器の活用等に係る内容を示しており、重要な視点であると感じた。カラーと二色刷りの一般図書があるが、カラーの方が見えやすいと感じた。
会 長	一人一人の障害種別等に合わせて調査されている、教科用図書について、カラー刷りのものや二色刷りのものなど、様々にあり、適切な教科用図書が選べるように資料がつくられている等の意見があった。
会 長	その他、全体を通して質問及び意見はないか。
委 員	なし（全委員）
会 長	審議したこの選定資料（案）は、委員の皆様の了解を得たものとして、後ほど県教育委員会に答申する。以上で議事を終了する。これより、進行を事務局にお返しする。
事務局 (義務教育 指導課)	選定資料については、会長から答申後、決定する。その後、県教育委員会のホームページで公開する予定である。